

ペットの飼い主の皆さんへ

新宿区は、平成15年9月19日に東京都獣医師会新宿支部と災害時における動物救護活動に関する協定を結びました。

新宿区は、災害時においても、人とペットの安全を考え、関係団体と協議を進め、災害に備えています。

災害が起きたとき、家族とペットが安全に避難できるように日ごろから話し合い、準備しておきましょう。

災害発生から
いざという時に
ペット
を守るために



新宿区保健所・危機管理課
東京都獣医師会新宿支部

災害発生時の安全確保

災害が起きたときに、人もペットもまず命を守ることが必要です。家の耐震化や家具の転倒防止といった対策を取っておきましょう。

大火災が発生した場合は、「広域避難場所」に避難しましょう。また、家族が離れ離れになった場合に備えて、集まる場所を複数決めておく、NTTの災害伝言ダイヤル「171」を使って安否確認をするといった対策を相談しておいてください。

【避難所】

家が焼けたり、壊れたりして、自宅で生活できなくなった場合に、人とペットの一時的な生活の場となるのが、避難所です。お近くの区立小中学校などが指定されています。あらかじめ場所の確認をしておいてください。ペットが負傷した場合は、動物病院での治療が必要となります。近隣の動物病院についても、調べておいてください。また、ペットを一時的に預かってもらえる友人や親戚等も必要です。



【自宅や勤務先からの避難所までの経路】

災害はいつ起こるかわかりませんが、職場や学校から避難所までの経路をいくつか考えておきましょう。

「新宿区避難場所地図」を危機管理課・区立防災センター・特別出張所で配布していますので、ご利用ください。

ペットのための防災用品

避難所では、人に対する準備はしていますが、ペットに対する備えは基本的に飼い主の責任で揃えることとなります。次に掲げるものを用意しておきましょう。

- 1 ペットの食事と水（3日間程度）
- 2 ペットのトイレ用品（ペットシートや猫の砂等）
- 3 ペットの常備薬
- 4 避難所でのペットケージ・檻・リード・ハーネス（猫にも必要です）
- 5 鑑札・迷子札等の身元表示
- 6 ペットの写真複数枚（ペットを探すときに必要です）

しつけ

避難所では、お互いに気持ちよくすごせるようにマナーを守りましょう。ペットがしつけられていれば、周囲の人たちも飼い主も心が休まります。日ごろから下記の点に注意して、しつけをしておくといいでしょう。

【犬の場合】

- 飼い主の指示を守り、無駄吠えをさせない。
- 人や他の動物を怖がらない。
- ケージに入ることを嫌がらない。
- トイレは決められたところとする。

【猫の場合】

- 人や他の動物を怖がらない。
- ケージに入ることを嫌がらない。
- トイレは決められたところとする。

【そのほかの動物の場合】

避難所では、爬虫類や両生類などのペットを受け入れることはできません。これらエキゾチックアニマルの飼い主の皆さんは、ペットの受け入れ先を日ごろから探しておいてください。

避難所生活は人もペットもストレスを受けざるを得ません。かつて、ペットが周囲の人を怖がって、排泄をしなかったり、食餌を取らなかったことや、極端に吠えたり人を咬んだりして避難所を出なければならなくなった例もあります。動物好きな人・嫌いな人・アレルギーを持つ人等さまざまな人が暮らしていくのですから、ペットが嫌われ者になるか、みんなに好かれるかは飼い主さん次第です。



個体認識（身元確認） 災害時には、飼い主とペットが離れ離れになり一緒に避難できるとは限りません。ペットを探すためにも個体識別が大変重要になってきます。

個体識別の方法には、鑑札（犬の場合）・迷子札・首輪・リボン・マイクロチップ等がありますが、常に装着していることや外れない等の点でマイクロチップが有効です。マイクロチップは動物の首の皮膚の下に専用注射器で挿入します。犬猫はもちろんですが、そのほかの動物にも装着ができます。一度装着すれば半永久的に識別が可能になり手間もかかりません。



準備しておきたい避難用品

【非常持ち出し品】

リュックサック等に、避難のとき必要なものをまとめて、持ち出しやすいところに置いておく。

食料 飲料水 携帯ラジオ 懐中電灯 予備の乾電池 靴下 軍手 タオル 常備薬 生理用品 ちり紙 ビニール袋 予備のメガネやコンタクトレンズ 携帯電話の充電器 マッチやライター 運動靴等は枕元に置いておきましょう。

そのほかにも考えられますが、あまり重くなると担いで避難するときに負担になります。おおよそ、大人で6~8kg程度に抑えましょう。



【非常用備蓄品】

- 災害後の生活を支えるものとして食料品を一人3日分
- 停電に備えて → 懐中電灯、ローソク、マッチ、ライター、予備の乾電池
- ガス停止に備えて → 簡易ガスコンロ、固形燃料
- 断水に備えて → 飲料水一人1日3リットルを目安に
- 情報を集めるために → 携帯ラジオ、テレビ

これらの品物を備蓄しておきましょう。



【防災準備品】

- 災害後の火災や家屋倒壊に備えるものとして
- 火災に備えて
消火器・三角消火バケツ・風呂の水の汲み置きなど。
 - 避難・救出に備えて
避難用ロープ、避難ばしご、スコップ、のこぎり、防水シート等



いざという時に災害からペットを守るために

発行日 平成18年7月
編集・発行 新宿区保健所・危機管理課
東京都獣医師会新宿支部

連絡先 新宿区保健所衛生課 電話5273-3845

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

イラストレーション © 中澤祥子・NPOねこだすけ